

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590029001	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (E1～E7) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E1～E7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、大学生のリュシーとジュリアンが出会い友達になっていく話になっています。皆さんがリュシーとジュリアンになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「デパートへ行ってみよう」(1)(対面) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) ペアレッシンをしよう
第4回	「デパートへ行ってみよう」(2)(対面) 1) デパートに何が売ってる? 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「兄弟姉妹がいる?」(1)(対面) 1) 「持っている」の動詞を知ろう 2) 疑問文を作ろう 3) ペアレッシンで話してみよう
第6回	「兄弟姉妹がいる?」(2)(対面) 1) 「どの」を知ろう 2) 20まで数字を覚えよう 3) 否定文を作ろう
第7回	「何語が話せる?」(1)(対面) 1) 形容詞にも男女がある 2) 「好き」の動詞を覚えよう 3) 「私の」を知る
第8回	「何語が話せる?」(2)(対面) 1) どの国の人? 2) 果物の名前を覚える 3) 「持っている」の小テストをする

第9回	「マルシェでお買い物」(1)(対面) 1) 「買う」を学ぼう 2) 「部分冠詞」を知ろう 3) リンゴ1キロ下さい。
第10回	「マルシェでお買い物」(2)(対面) 1) 中性代名詞って何？ 2) ～が欲しいんですが。 3) アイス下さい
第11回	「どこに行くの？」(1)(対面) 1) 「行く」の 動詞を知る 2) 前置詞の使いかた 3) ペアレッスン
第12回	「どこに行くの？」(2)(対面) 1) 強勢形を使ってみよう 2) 動詞の小テスト 3) フランスの中の日本は何？
第13回	「何時にする？」(1)(対面) 1) 「行く」の動詞を使おう 2) フランスの地方はどんなところ？
第14回	「何時にする？」(2)(対面) 1) 美術館に行こうよ。 2 時間の言い方を知る 3) お店での会話、ペアレッスン
第15回	試験のために復習をしよう (対面)
第16回	定期試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590029002	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「ピエールとユーゴー」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、列車の乗り方、ホテルの予約の仕方、カフェ、レストランで日常よく使われる会話を学びます。 またパリの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。 「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。 映像を見ながら楽しく学びましょう。 また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 ?基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 ?国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 ?日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 5 0 %、小テスト 2 0 %、課題 2 0 %、授業態度 1 0 %、を総合的に判断する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。（2h/回） 事後学習は、復習の課題を出します。（2h/回）次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	フランス語 Ⅰ
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユゴー」（白水社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	（先輩のメッセージ） 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまででは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（１）（対面） １）アルファベを発音しよう ２）単語を発音してみよう ３）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（２）（対面） １）アルファベを発音しよう ２）単語を発音してみよう ３）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「僕たちは親友なんだ！」（１）（対面） １）「誰々は」を言ってみよう ２）リエゾンって何？ ３）数を数えよう
第4回	「僕たちは親友なんだ！」（２）（対面） １）「～です」を学ぼう ２）「～人」を覚えよう ３）「高校生」「大学生」
第5回	「僕たちは親友なんだ！」（３）（対面） １）自己紹介をする ２）ペアレッスンで話してみよう ３）「?です」の小テスト

第6回	Civilisation (対面) 1) パリってどんなところ？ 2) フランスの地方を知ろう 3) 列車の切符を買ってみよう
第7回	「これは何？」(1)(対面) 1) 男性名詞と女性名詞って何？ 2) 名詞の複数形を書いてみよう 3) 練習問題を解こう
第8回	「これは何？」(2)(対面) 1) 「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2) 「持っている」を学ぼう 3) 持ってるものを言ってみよう
第9回	「これは何？」(3)(対面) 1) 大きい、小さい、形容詞を学ぶ 2) 旅行には何が必要？ 3) 兄弟がいる、ペットを飼ってるの表現を学ぶ
第10回	Civilisation (対面) 1) フランスの歴史を知る 2) カフェってどんなところ？ 3) カフェで注文してみよう
第11回	「切符がない」(1)(対面) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 「?を好き」を学ぼう 3) 何が好き？ペアレッスン
第12回	「切符がない」(2)(対面) 1) 「これは?です」を学ぶ 2) 「探す」を学ぼう 3) 「好き」の小テスト
第13回	「切符がない」(3)(対面) 1) 否定文を作る 2) 練習問題を解いてみよう 3) フランス語の聞き取りをしよう
第14回	「切符がない」(4)(対面) 1) 冠詞の違いを知る 2) 数字を覚える 3) チャットをしてみよう
第15回	フランス人へメールを書く(対面) 1) 自己紹介を書いてみよう 2) フランス人へのメールを書く
第16回	前期試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590029003	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (L(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、大学生のリュシーとジュリアンが出会い友達になっていく話になっています。皆さんがリュシーとジュリアンになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「デパートへ行ってみよう」(1)(対面) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) ペアレッシンをしよう
第4回	「デパートへ行ってみよう」(2)(対面) 1) デパートに何が売ってる? 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「兄弟姉妹がいる?」(1)(対面) 1) 「持っている」の動詞を知ろう 2) 疑問文を作ろう 3) ペアレッシンで話してみよう
第6回	「兄弟姉妹がいる?」(2)(対面) 1) 「どの」を知ろう 2) 20まで数字を覚えよう 3) 否定文を作ろう
第7回	「何語が話せる?」(1)(対面) 1) 形容詞にも男女がある 2) 「好き」の動詞を覚えよう 3) 「私の」を知る
第8回	「何語が話せる?」(2)(対面) 1) どの国の人? 2) 果物の名前を覚える 3) 「持っている」の小テストをする

第9回	「マルシェでお買い物」(1)(対面) 1)「買う」を学ぼう 2)「部分冠詞」を知ろう 3)リンゴ1キロ下さい。
第10回	「マルシェでお買い物」(2)(対面) 1)中性代名詞って何？ 2)～が欲しいんですが。 3)アイス下さい
第11回	「どこに行くの？」(1)(対面) 1)「行く」の動詞を知る 2)前置詞の使いかた 3)ペアレッスン
第12回	「どこに行くの？」(2)(対面) 1)強勢形を使ってみよう 2)動詞の小テスト 3)フランスの中の日本は何？
第13回	「何時にする？」(1)(対面) 1)「行く」の動詞を使おう 2)フランスの地方はどんなところ？
第14回	「何時にする？」(2)(対面) 1)美術館に行こうよ。 2)時間の言い方を知る 3)お店での会話、ペアレッスン
第15回	試験のために復習をしよう(対面)
第16回	定期試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590029004	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、大学生のリュシーとジュリアンが出会い友達になっていく話になっています。皆さんがリュシーとジュリアンになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「デパートへ行ってみよう」(1)(対面) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) ペアレッシンをしよう
第4回	「デパートへ行ってみよう」(2)(対面) 1) デパートに何が売ってる? 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「兄弟姉妹がいる?」(1)(対面) 1) 「持っている」の動詞を知ろう 2) 疑問文を作ろう 3) ペアレッシンで話してみよう
第6回	「兄弟姉妹がいる?」(2)(対面) 1) 「どの」を知ろう 2) 20まで数字を覚えよう 3) 否定文を作ろう
第7回	「何語が話せる?」(1)(対面) 1) 形容詞にも男女がある 2) 「好き」の動詞を覚えよう 3) 「私の」を知る
第8回	「何語が話せる?」(2)(対面) 1) どの国の人? 2) 果物の名前を覚える 3) 「持っている」の小テストをする

第9回	「マルシェでお買い物」(1)(対面) 1)「買う」を学ぼう 2)「部分冠詞」を知ろう 3)リンゴ1キロ下さい。
第10回	「マルシェでお買い物」(2)(対面) 1)中性代名詞って何？ 2)～が欲しいんですが。 3)アイス下さい
第11回	「どこに行くの？」(1)(対面) 1)「行く」の動詞を知る 2)前置詞の使いかた 3)ペアレッスン
第12回	「どこに行くの？」(2)(対面) 1)強勢形を使ってみよう 2)動詞の小テスト 3)フランスの中の日本は何？
第13回	「何時にする？」(1)(対面) 1)「行く」の動詞を使おう 2)フランスの地方はどんなところ？
第14回	「何時にする？」(2)(対面) 1)美術館に行こうよ。 2)時間の言い方を知る 3)お店での会話、ペアレッスン
第15回	試験のために復習をしよう(対面)
第16回	定期試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590029005	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、大学生のリュシーとジュリアンが出会い友達になっていく話になっています。皆さんがリュシーとジュリアンになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「デパートへ行ってみよう」(1)(対面) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) ペアレッシンをしよう
第4回	「デパートへ行ってみよう」(2)(対面) 1) デパートに何が売ってる? 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「兄弟姉妹がいる?」(1)(対面) 1) 「持っている」の動詞を知ろう 2) 疑問文を作ろう 3) ペアレッシンで話してみよう
第6回	「兄弟姉妹がいる?」(2)(対面) 1) 「どの」を知ろう 2) 20まで数字を覚えよう 3) 否定文を作ろう
第7回	「何語が話せる?」(1)(対面) 1) 形容詞にも男女がある 2) 「好き」の動詞を覚えよう 3) 「私の」を知る
第8回	「何語が話せる?」(2)(対面) 1) どの国の人? 2) 果物の名前を覚える 3) 「持っている」の小テストをする

第9回	「マルシェでお買い物」(1)(対面) 1)「買う」を学ぼう 2)「部分冠詞」を知ろう 3)リンゴ1キロ下さい。
第10回	「マルシェでお買い物」(2)(対面) 1)中性代名詞って何？ 2)～が欲しいんですが。 3)アイス下さい
第11回	「どこに行くの？」(1)(対面) 1)「行く」の動詞を知る 2)前置詞の使いかた 3)ペアレッスン
第12回	「どこに行くの？」(2)(対面) 1)強勢形を使ってみよう 2)動詞の小テスト 3)フランスの中の日本は何？
第13回	「何時にする？」(1)(対面) 1)「行く」の動詞を使おう 2)フランスの地方はどんなところ？
第14回	「何時にする？」(2)(対面) 1)美術館に行こうよ。 2)時間の言い方を知る 3)お店での会話、ペアレッスン
第15回	試験のために復習をしよう(対面)
第16回	定期試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590029006	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1~M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、大学生のリュシーとジュリアンが出会い友達になっていく話になっています。皆さんがリュシーとジュリアンになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「デパートへ行ってみよう」(1)(対面) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) ペアレッシンをしよう
第4回	「デパートへ行ってみよう」(2)(対面) 1) デパートに何が売ってる? 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「兄弟姉妹がいる?」(1)(対面) 1) 「持っている」の動詞を知ろう 2) 疑問文を作ろう 3) ペアレッシンで話してみよう
第6回	「兄弟姉妹がいる?」(2)(対面) 1) 「どの」を知ろう 2) 20まで数字を覚えよう 3) 否定文を作ろう
第7回	「何語が話せる?」(1)(対面) 1) 形容詞にも男女がある 2) 「好き」の動詞を覚えよう 3) 「私の」を知る
第8回	「何語が話せる?」(2)(対面) 1) どの国の人? 2) 果物の名前を覚える 3) 「持っている」の小テストをする

第9回	「マルシェでお買い物」(1)(対面) 1)「買う」を学ぼう 2)「部分冠詞」を知ろう 3)リンゴ1キロ下さい。
第10回	「マルシェでお買い物」(2)(対面) 1)中性代名詞って何？ 2)～が欲しいんですが。 3)アイス下さい
第11回	「どこに行くの？」(1)(対面) 1)「行く」の 動詞を知る 2)前置詞の使いかた 3)ペアレッスン
第12回	「どこに行くの？」(2)(対面) 1)強勢形を使ってみよう 2)動詞の小テスト 3)フランスの中の日本は何？
第13回	「何時にする？」(1)(対面) 1)「行く」の動詞を使おう 2)フランスの地方はどんなところ？
第14回	「何時にする？」(2)(対面) 1)美術館に行こうよ。 2)時間の言い方を知る 3)お店での会話、ペアレッスン
第15回	試験のために復習をしよう(対面)
第16回	定期試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590029007	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (M4 ~ M6_D1・D2_K(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4 ~ M6_D1・D2_K(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、大学生のリュシーとジュリアンが出会い友達になっていく話になっています。皆さんがリュシーとジュリアンになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2)(対面) 1) アルファベを発音しよう 2) 単語を発音してみよう 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「デパートへ行ってみよう」(1)(対面) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) ペアレッシンをしよう
第4回	「デパートへ行ってみよう」(2)(対面) 1) デパートに何が売ってる? 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「兄弟姉妹がいる?」(1)(対面) 1) 「持っている」の動詞を知ろう 2) 疑問文を作ろう 3) ペアレッシンで話してみよう
第6回	「兄弟姉妹がいる?」(2)(対面) 1) 「どの」を知ろう 2) 20まで数字を覚えよう 3) 否定文を作ろう
第7回	「何語が話せる?」(1)(対面) 1) 形容詞にも男女がある 2) 「好き」の動詞を覚えよう 3) 「私の」を知る
第8回	「何語が話せる?」(2)(対面) 1) どの国の人? 2) 果物の名前を覚える 3) 「持っている」の小テストをする

第9回	「マルシェでお買い物」(1)(対面) 1)「買う」を学ぼう 2)「部分冠詞」を知ろう 3)リンゴ1キロ下さい。
第10回	「マルシェでお買い物」(2)(対面) 1)中性代名詞って何？ 2)～が欲しいんですが。 3)アイス下さい
第11回	「どこに行くの？」(1)(対面) 1)「行く」の 動詞を知る 2)前置詞の使いかた 3)ペアレッスン
第12回	「どこに行くの？」(2)(対面) 1)強勢形を使ってみよう 2)動詞の小テスト 3)フランスの中の日本は何？
第13回	「何時にする？」(1)(対面) 1)「行く」の動詞を使おう 2)フランスの地方はどんなところ？
第14回	「何時にする？」(2)(対面) 1)美術館に行こうよ。 2)時間の言い方を知る 3)お店での会話、ペアレッスン
第15回	試験のために復習をしよう(対面)
第16回	定期試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590031001	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (L(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1)「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2)代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3)フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4)簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回)次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語 II		
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「レストランで何を注文する？」（１）（対面） １）一緒にレストランに行こうよ ２）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう ３）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	「レストランで何を注文する？」（２）（対面） １）近い未来を言ってみよう ２）近い過去を言ってみよう ３）「食べる、飲む」の動詞を知る	A B C
第3回	「フランスと日本を比較する」（１）（対面） １）～より～だ ２）食べ物の単語小テスト ３）ペアレッスン	A B C
第4回	「フランスと日本を比較する」（２）（対面） １）最上級を知ろう ２）ケル、ケル、ケル ３）練習問題を解こう	A B C
第5回	「映画について語ろう」（１）（対面） １）「知る」の動詞を覚える ２）どの俳優を好き？ ３）フランス語を聞き取ろう	A B C
第6回	「映画について語ろう」（２）（対面） １）「知ってる」の動詞を覚える ２）「私を」「君を」代名詞を知ろう ３）グルーブレッスン	A B C
第7回	「どんな１日を過ごしてる？」（１）（対面） １）代名動詞を知ろう ２）時間の表現を覚える ３）１日であることを言ってみよう	A B C
第8回	「どんな１日を過ごしてる？」（２）（対面） １）今日は何曜日？ ２）場所の表現を知る ３）ペアレッスン	A B C
第9回	「過去を話す」（１）（対面） １）avoir を使った過去形を作ろう ２）昨日なににしたの？ ３）ペアレッスン	A B C
第10回	「過去を話す」（２）（対面） １）etre を使った過去形を作ろう ２）クラスメートに質問しよう ３）この人はどんな人？	A B C

第11回	「未来のことを言ってみよう」(1) (対面) 1) 未来形を知る 2) 明日、明後日	A B C
第12回	「未来のことを言ってみよう」(2) (対面) 1) 未来の文を作ろう 2) 動詞小テスト 3) 自由に会話をしてみよう	A B C
第13回	「半過去を知る」(対面) 1) パリに住んでたよ。 2) おなかがすいた、喉がかわいた 3) ~ があります	A B C
第14回	「現在分詞」を知る (対面) 1) 現在分詞を作ろう 2) ジェロンディフって何？ 3) ペアレッシン	A B C
第15回	試験のための復習をしよう (対面)	A B C
第16回	定期試験 (対面)	A B C

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590031002	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00-12:50 水曜日12:00-12:50 木曜日12:30-12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	前期に続き「ピエールとユーゴー」の教科書を使用します。パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスの映画を通してフランスと日本の文化の違いをも考えていきます。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	?「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 ?形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 ?フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 ?簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 50%、小テスト 15%、課題 10%、授業態度 10%、Fr@nce.go(自己学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語 II		
教科書・教材・参考書/Materials	「ピエールとユーゴー」(白水社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「この列車は直通だ！」（１）（対面） １）「この」「あの」を学ぶ ２）「する」を言ってみよう ３）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「この列車は直通だ！」（２）（対面） １）強勢形って何？ ２）強勢形を使ってみよう ３）「する」の小テスト
第3回	「この列車は直通だ！」（３）（対面） １）「降りる」の動詞を学ぶ ２）「私たち」の表現 ３）フランス語を聞き取る
第4回	Civilisation（対面） １）フランスは小学生から留年がある？ ２）フランスの大学生活 ３）自分の大学生活をフランス語で話してみよう
第5回	「パリから着ました」（１）（対面） １）「行く」の動詞を学ぶ ２）前置詞を学ぶ ３）ペアレッスン
第6回	「パリから着ました」（２）（対面） １）「来る」の動詞を学ぶ ２）元気ですか？ ３）練習問題を解く
第7回	「パリから着ました」（３）（対面） １）疑問文の作りかた ２）命令形を作ってみよう ３）フランス語を聞き取る
第8回	「君たち何歳なの？」（１）（対面） １）「どの」「どんな」を学ぶ ２）年齢を聞いて答えよう ３）ペアレッスン
第9回	「君たち何歳なの？」（２）（対面） １）「誰々の」を覚えよう ２）練習問題を解く ３）１？１０まで覚えよう
第10回	「君たち何歳なの？」（３）（対面） １）１０から２０まで覚えよう ２）数字を聞き取る ３）ペアレッスン

第11回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(1) (対面) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3) 「?が欲しい」の動詞を学ぶ
第12回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(2) (対面) 1) 「選ぶ」の動詞を学ぶ 2) 欲しいもの何？ 3) ペアレッスン
第13回	「のど、からから、おなか、ぺこぺこ」(3) (対面) 1) カフェ、レストランで注文しよう 2) 暑い、寒いの表現を知る 3) 練習問題を解く
第14回	フランス語でパワーポイントを作ろう(1) (対面) 1) 写真入りで自己紹介の文章を書こう 2) 写真入りで自分の好きなものを紹介しよう
第15回	フランス語でパワーポイントを作ろう(2) (対面) 1) 写真入りで自分の街を紹介しよう 2) 写真入りで日本のお正月を紹介しよう
第16回	定期試験(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590031003	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (E1～E7) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E1～E7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階 (B棟 1 階)		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10～12:40 水曜日12:10～12:40 木曜日12:10～12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語 II		
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「レストランで何を注文する？」（１）（対面） １）一緒にレストランに行こうよ ２）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう ３）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	「レストランで何を注文する？」（２）（対面） １）近い未来を言ってみよう ２）近い過去を言ってみよう ３）「食べる、飲む」の動詞を知る	A B C
第3回	「フランスと日本を比較する」（１）（対面） １）～より～だ ２）食べ物の単語小テスト ３）ペアレッスン	A B C
第4回	「フランスと日本を比較する」（２）（対面） １）最上級を知ろう ２）ケル、ケル、ケル ３）練習問題を解こう	A B C
第5回	「映画について語ろう」（１）（対面） １）「知る」の動詞を覚える ２）どの俳優を好き？ ３）フランス語を聞き取ろう	A B C
第6回	「映画について語ろう」（２）（対面） １）「知ってる」の動詞を覚える ２）「私を」「君を」代名詞を知ろう ３）グルーブレッスン	A B C
第7回	「どんな１日を過ごしてる？」（１）（対面） １）代名動詞を知ろう ２）時間の表現を覚える ３）１日であることを言ってみよう	A B C
第8回	「どんな１日を過ごしてる？」（２）（対面） １）今日は何曜日？ ２）場所の表現を知る ３）ペアレッスン	A B C
第9回	「過去を話す」（１）（対面） １）avoir を使った過去形を作ろう ２）昨日なにをしたの？ ３）ペアレッスン	A B C
第10回	「過去を話す」（２）（対面） １）etre を使った過去形を作ろう ２）クラスメートに質問しよう ３）この人はどんな人？	A B C

第11回	「未来のことを言ってみよう」(1)(対面) 1) 未来形を知る 2) 明日、明後日	A B C
第12回	「未来のことを言ってみよう」(2)(対面) 1) 未来の文を作ろう 2) 動詞小テスト 3) 自由に会話をしてみよう	A B C
第13回	「半過去を知る」(対面) 1) パリに住んでたよ。 2) おなかがすいた、喉がかわいた 3) ~ があります	A B C
第14回	「現在分詞」を知る (対面) 1) 現在分詞を作ろう 2) ジェロンディフって何？ 3) ペアレッシン	A B C
第15回	試験のための復習をしよう (対面)	A B C
第16回	定期試験 (対面)	A B C

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590031004	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階(B棟1階)		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語 II		
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「レストランで何を注文する？」（１）（対面） １）一緒にレストランに行こうよ ２）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう ３）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	「レストランで何を注文する？」（２）（対面） １）近い未来を言ってみよう ２）近い過去を言ってみよう ３）「食べる、飲む」の動詞を知る	A B C
第3回	「フランスと日本を比較する」（１）（対面） １）～より～だ ２）食べ物の単語小テスト ３）ペアレッスン	A B C
第4回	「フランスと日本を比較する」（２）（対面） １）最上級を知ろう ２）ケル、ケル、ケル ３）練習問題を解こう	A B C
第5回	「映画について語ろう」（１）（対面） １）「知る」の動詞を覚える ２）どの俳優を好き？ ３）フランス語を聞き取ろう	A B C
第6回	「映画について語ろう」（２）（対面） １）「知ってる」の動詞を覚える ２）「私を」「君を」代名詞を知ろう ３）グルーブレッスン	A B C
第7回	「どんな１日を過ごしてる？」（１）（対面） １）代名動詞を知ろう ２）時間の表現を覚える ３）１日であることを言ってみよう	A B C
第8回	「どんな１日を過ごしてる？」（２）（対面） １）今日は何曜日？ ２）場所の表現を知る ３）ペアレッスン	A B C
第9回	「過去を話す」（１）（対面） １）avoir を使った過去形を作ろう ２）昨日なにをしたの？ ３）ペアレッスン	A B C
第10回	「過去を話す」（２）（対面） １）etre を使った過去形を作ろう ２）クラスメートに質問しよう ３）この人はどんな人？	A B C

第11回	「未来のことを言ってみよう」(1)(対面) 1) 未来形を知る 2) 明日、明後日	A B C
第12回	「未来のことを言ってみよう」(2)(対面) 1) 未来の文を作ろう 2) 動詞小テスト 3) 自由に会話をしてみよう	A B C
第13回	「半過去を知る」(対面) 1) パリに住んでたよ。 2) おなかがすいた、喉がかわいた 3) ~ があります	A B C
第14回	「現在分詞」を知る (対面) 1) 現在分詞を作ろう 2) ジェロンディフって何？ 3) ペアレッシン	A B C
第15回	試験のための復習をしよう (対面)	A B C
第16回	定期試験 (対面)	A B C

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590031005	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1)「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2)代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3)フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4)簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回)次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語 II		
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「レストランで何を注文する？」（１）（対面） １）一緒にレストランに行こうよ ２）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう ３）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	「レストランで何を注文する？」（２）（対面） １）近い未来を言ってみよう ２）近い過去を言ってみよう ３）「食べる、飲む」の動詞を知る	A B C
第3回	「フランスと日本を比較する」（１）（対面） １）～より～だ ２）食べ物の単語小テスト ３）ペアレッスン	A B C
第4回	「フランスと日本を比較する」（２）（対面） １）最上級を知ろう ２）ケル、ケル、ケル ３）練習問題を解こう	A B C
第5回	「映画について語ろう」（１）（対面） １）「知る」の動詞を覚える ２）どの俳優を好き？ ３）フランス語を聞き取ろう	A B C
第6回	「映画について語ろう」（２）（対面） １）「知ってる」の動詞を覚える ２）「私を」「君を」代名詞を知ろう ３）グルーブレッスン	A B C
第7回	「どんな１日を過ごしてる？」（１）（対面） １）代名動詞を知ろう ２）時間の表現を覚える ３）１日であることを言ってみよう	A B C
第8回	「どんな１日を過ごしてる？」（２）（対面） １）今日は何曜日？ ２）場所の表現を知る ３）ペアレッスン	A B C
第9回	「過去を話す」（１）（対面） １）avoir を使った過去形を作ろう ２）昨日なにをしたの？ ３）ペアレッスン	A B C
第10回	「過去を話す」（２）（対面） １）etre を使った過去形を作ろう ２）クラスメートに質問しよう ３）この人はどんな人？	A B C

第11回	「未来のことを言ってみよう」(1)(対面) 1) 未来形を知る 2) 明日、明後日	A B C
第12回	「未来のことを言ってみよう」(2)(対面) 1) 未来の文を作ろう 2) 動詞小テスト 3) 自由に会話をしてみよう	A B C
第13回	「半過去を知る」(対面) 1) パリに住んでたよ。 2) おなかがすいた、喉がかわいた 3) ~ があります	A B C
第14回	「現在分詞」を知る (対面) 1) 現在分詞を作ろう 2) ジェロンディフって何？ 3) ペアレッシン	A B C
第15回	試験のための復習をしよう (対面)	A B C
第16回	定期試験 (対面)	A B C

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590031006	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1~M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階 (B棟 1 階)		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語 II		
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「レストランで何を注文する？」（１）（対面） １）一緒にレストランに行こうよ ２）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう ３）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	「レストランで何を注文する？」（２）（対面） １）近い未来を言ってみよう ２）近い過去を言ってみよう ３）「食べる、飲む」の動詞を知る	A B C
第3回	「フランスと日本を比較する」（１）（対面） １）～より～だ ２）食べ物の単語小テスト ３）ペアレッスン	A B C
第4回	「フランスと日本を比較する」（２）（対面） １）最上級を知ろう ２）ケル、ケル、ケル ３）練習問題を解こう	A B C
第5回	「映画について語ろう」（１）（対面） １）「知る」の動詞を覚える ２）どの俳優を好き？ ３）フランス語を聞き取ろう	A B C
第6回	「映画について語ろう」（２）（対面） １）「知ってる」の動詞を覚える ２）「私を」「君を」代名詞を知ろう ３）グルーブレッスン	A B C
第7回	「どんな１日を過ごしてる？」（１）（対面） １）代名動詞を知ろう ２）時間の表現を覚える ３）１日であることを言ってみよう	A B C
第8回	「どんな１日を過ごしてる？」（２）（対面） １）今日は何曜日？ ２）場所の表現を知る ３）ペアレッスン	A B C
第9回	「過去を話す」（１）（対面） １）avoir を使った過去形を作ろう ２）昨日なにをしたの？ ３）ペアレッスン	A B C
第10回	「過去を話す」（２）（対面） １）etre を使った過去形を作ろう ２）クラスメートに質問しよう ３）この人はどんな人？	A B C

第11回	「未来のことを言ってみよう」(1)(対面) 1) 未来形を知る 2) 明日、明後日	A B C
第12回	「未来のことを言ってみよう」(2)(対面) 1) 未来の文を作ろう 2) 動詞小テスト 3) 自由に会話をしてみよう	A B C
第13回	「半過去を知る」(対面) 1) パリに住んでたよ。 2) おなかがすいた、喉がかわいた 3) ~ があります	A B C
第14回	「現在分詞」を知る (対面) 1) 現在分詞を作ろう 2) ジェロンディフって何？ 3) ペアレッシン	A B C
第15回	試験のための復習をしよう (対面)	A B C
第16回	定期試験 (対面)	A B C

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590031007	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (M4~M6_D1・D2_K(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4~M6_D1・D2_K(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階 (B棟 1 階)		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期の続きの「君と話したいフランス語」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語 II		
教科書・教材・参考書/Materials	「君と話したいフランス語」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「レストランで何を注文する？」（１）（対面） １）一緒にレストランに行こうよ ２）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう ３）ペアレッスンをしてみよう	A B C
第2回	「レストランで何を注文する？」（２）（対面） １）近い未来を言ってみよう ２）近い過去を言ってみよう ３）「食べる、飲む」の動詞を知る	A B C
第3回	「フランスと日本を比較する」（１）（対面） １）～より～だ ２）食べ物の単語小テスト ３）ペアレッスン	A B C
第4回	「フランスと日本を比較する」（２）（対面） １）最上級を知ろう ２）ケル、ケル、ケル ３）練習問題を解こう	A B C
第5回	「映画について語ろう」（１）（対面） １）「知る」の動詞を覚える ２）どの俳優を好き？ ３）フランス語を聞き取ろう	A B C
第6回	「映画について語ろう」（２）（対面） １）「知ってる」の動詞を覚える ２）「私を」「君を」代名詞を知ろう ３）グルーブレッスン	A B C
第7回	「どんな１日を過ごしてる？」（１）（対面） １）代名動詞を知ろう ２）時間の表現を覚える ３）１日であることを言ってみよう	A B C
第8回	「どんな１日を過ごしてる？」（２）（対面） １）今日は何曜日？ ２）場所の表現を知る ３）ペアレッスン	A B C
第9回	「過去を話す」（１）（対面） １）avoir を使った過去形を作ろう ２）昨日なにをしたの？ ３）ペアレッスン	A B C
第10回	「過去を話す」（２）（対面） １）etre を使った過去形を作ろう ２）クラスメートに質問しよう ３）この人はどんな人？	A B C

第11回	「未来のことを言ってみよう」(1) (対面) 1) 未来形を知る 2) 明日、明後日	A B C
第12回	「未来のことを言ってみよう」(2) (対面) 1) 未来の文を作ろう 2) 動詞小テスト 3) 自由に会話をしてみよう	A B C
第13回	「半過去を知る」(対面) 1) パリに住んでたよ。 2) おなかがすいた、喉がかわいた 3) ~ があります	A B C
第14回	「現在分詞」を知る (対面) 1) 現在分詞を作ろう 2) ジェロンディフって何？ 3) ペアレッシン	A B C
第15回	試験のための復習をしよう (対面)	A B C
第16回	定期試験 (対面)	A B C

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590033001	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (2G1 ~ 2G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲ nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	曜日12:00 ~ 12:50 水曜日12:00 ~ 12:50 木曜日12:30 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、フランス語 の続きの「カフェ フランセ 2」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。ディアログを通して日常生活や旅行で役立つ数々の有用な表現を学びます。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) 動詞の過去時制を学び、過去に起こったことを伝えられるようになる。 2) ある人物について性格や好み・身体的特徴などを伝えられるようになる。 3) 曜日を始め、時の表現を使いこなせるようになる。 4) 天候を言い表せるようになる。 5) 過去の出来事を描写できる。 6) 移動手段について知って語ることができ、鉄道での移動ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語		
教科書・教材・参考書/Materials	「カフェ フランセ 2」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	フランス語 で学習した内容の復習（対面） 1）聞き取りをする。 2）自己紹介をする	A
第2回	「信じられない」（１）（対面） 1）半過去形を学ぼう 2）強勢形を知る	A B C
第3回	「信じられない」（２）（対面） 1）代名動詞の命令形 2）聞き取りをする 3）ペアレッスン	A B C
第4回	「カフェのテラスで」（１）（対面） 1）半過去形小テスト 2）ジェロンディフを知る	A B C
第5回	「カフェのテラスで」（２）（対面） 1）過去分詞の性数一致 2）近接過去を知ろう。 3）ペアレッスン	A B C
第6回	「TGVを予約しよう」（１）（対面） 1）乗車表を見よう 2）未来を言おう 3）ペアレッスン	A B C
第7回	「TGVを予約しよう」（２）（対面） 1）移動手段の表し方を知ろう。 2）疑問代名詞qui と que 3）中性代名詞 le の使い方を理解しよう。	A B C
第8回	「モンバルナスの駅で」（対面） 1）切符の自販機を使おう 2）商店の名前を知る 3）ou とdont を使う	A B C
第9回	「ボルドーに着いた！」（１）（対面） 1）グループで半過去の活用慣れる練習をしよう。 2）フランスの交通事情に詳しくなるう。 3）方向を知ろう	A B C
第10回	「ボルドーに着いた」（２）（対面） 1）中性代名詞 y を知る 2）丁寧な方を学ぶ 3）建物の場所を教えよう	A B C

第11回	「アリスとトマの家で」(1)(対面) 1) 友達を紹介しよう 2) depuis と Il y a を知ろう 3) 関係代名詞を知ろう。	A B C
第12回	「アリスとトマの家で」(1)(対面) 1) 家の中を案内する 2) 家具の名詞を覚える 3) 位置関係を表す表現を知ろう。	A B C
第13回	映画 (動画) でリスニングを確認し、フランス料理やグルメガイドの世界を知ろう。(対面)	A C
第14回	「市場で」(1)(対面) 1) 市場では何が売ってる? 2) 買い物のベアレッスン	A B C
第15回	「市場で」(2)(対面) 1) 値段を比較しよう 2) 分量の表現を覚えよう	A C
第16回	定期試験 (対面)	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590033002	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	【Online】●フランス語 (再履修) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、フランス語 の続きの「カフェ フランセ 2」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。ディアログを通して日常生活や旅行で役立つ数々の有用な表現を学びます。 またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) 動詞の過去時制を学び、過去に起こったことを伝えられるようになる。 2) ある人物について性格や好み・身体的特徴などを伝えられるようになる。 3) 曜日を始め、時の表現を使いこなせるようになる。 4) 天候を言い表せるようになる。 5) 過去の出来事を描写できる。 6) 移動手段について知って語ることができ、鉄道での移動ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☒C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10% を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語		
教科書・教材・参考書/Materials	「カフェ フランセ 2」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	基本的に対面授業です。学部の授業と重なる場合は、どの授業と重なるか申し出てください。その場合のみ、オンライン及びオンデマンドが可能です。オンデマンドの場合はLACSの連絡事項にZoomのURLをコピーします。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	フランス語 で学習した内容の復習（オンライン） 1）聞き取りをする。 2）自己紹介をする	A
第2回	「信じられない」（1）（オンライン） 1）半過去形を学ぼう 2）強勢形を知る	A B C
第3回	「信じられない」（2）（オンライン） 1）代名動詞の命令形 2）聞き取りをする 3）ペアレッスン	A B C
第4回	「カフェのテラスで」（1）（オンライン） 1）半過去形小テスト 2）ジェロンディフを知る	A B C
第5回	「カフェのテラスで」（2）（オンライン） 1）過去分詞の性数一致 2）近接過去を知ろう。 3）ペアレッスン	A B C
第6回	「TGVを予約しよう」（1）（オンライン） 1）乗車表を見よう 2）未来を言おう 3）ペアレッスン	A B C
第7回	「TGVを予約しよう」（2）（オンライン） 1）移動手段の表し方を知ろう。 2）疑問代名詞qui と que 3）中性代名詞 le の使い方を理解しよう。	A B C
第8回	「モンバルナスの駅で」（オンライン） 1）切符の自販機を使おう 2）商店の名前を知る 3）ou とdont を使う	A B C
第9回	「ボルドーに着いた！」（1）（オンライン） 1）グループで半過去の活用慣れる練習をしよう。 2）フランスの交通事情に詳しくなるよう。 3）方向を知ろう	A B C
第10回	「ボルドーに着いた」（2）（オンライン） 1）中性代名詞 y を知る 2）丁寧な方を学ぶ 3）建物の場所を教えよう	A B C

第11回	「アリスとトマの家で」(1)(オンライン) 1) 友達を紹介しよう 2) depuis と Il y a を知ろう 3) 関係代名詞を知ろう。	A B C
第12回	「アリスとトマの家で」(1)(オンライン) 1) 家の中を案内する 2) 家具の名詞を覚える 3) 位置関係を表す表現を知ろう。	A B C
第13回	映画(動画)でリスニングを確認し、フランス料理やグルメガイドの世界を知ろう。(オンライン)	A C
第14回	「市場で」(1)(オンライン) 1) 市場では何が売ってる? 2) 買い物のベアレッション	A B C
第15回	「市場で」(2)(オンライン) 1) 値段を比較しよう 2) 分量の表現を覚えよう	A C
第16回	定期試験(オンライン)	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590035001	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (2G1 ~ 2G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B 科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	曜日12:00 ~ 12:50 水曜日12:00 ~ 12:50 木曜日12:30 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期のフランス語 に引き続き「カフェ フランセ 2」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られてます。フランスで日常よく使われる会話を学びます。またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) 「～しながら」(同時性)や「～すれば」(条件)を表すジェロンディフ(en +現在分詞)が使えるようになる。 2) 感嘆文が言えるようになる。 3) 条件法・接続法など動詞の叙法について知り、典型的な使い方で文が作れるようになる。 4) 住居に関する単語や階の数え方を知り、家の説明ができるようになる。 5) 誰かに対する評価を含んだお礼のメッセージが書けるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語		
教科書・教材・参考書/Materials	「カフェ フランセ 2」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「医者のところへ」（１）（対面） １）身体部分を覚えよう ２）どこが痛い？ ３）もし～なら、仮定法を知る	A B C
第2回	「医者のところへ」（２）（対面） １）病気と症状を言おう ２）聞き取りをしよう ３）ペアレッスン	A B C
第3回	「パーティをしよう」（１）（対面） １）土曜日の夜あいてる？ ２）条件法を知ろう	A B C
第4回	「パーティをしよう」（２）（対面） １）パーティーで何を食べる？ ２）招待する、受け入れる、断る ３）ペアレッスン	A B C
第5回	「電話とメール」（１）（対面） １）間接話法を学ぶ ２）料理のレシピを知ろう ３）聞き取りをしよう	A B C
第6回	「電話とメール」（２）（対面） １）料理の材料を知る ２）レシピの料理法を読む ３）単語小テスト	A B C
第7回	「パーティーの計画をしよう」（１）（対面） １）出来事の順番と状況を話す ２）聞き取りをする	A B C
第8回	「パーティーの計画をしよう」（２）（対面） １）大過去を学ぼう ２）時制の一致をさせよう	A B C
第9回	「ケンカをする」（１）（対面） １）聞き取りをする ２）文章を完成させる ３）ストーリーにふさわしいタイトルを選ぼう。	A B C
第10回	「ケンカをする」（２）（対面） １）要求を伝える ２）怒りや不満を伝える	A B C
第11回	「河岸を散歩する」（１）（対面） １）接続法現在の活用と用法について理解を深めよう。 ２）仲直りの言葉を知る	A C
第12回	「河岸を散歩する」（２）（対面） １）比較級を知る ２）最上級を知る	A B C

第13回	「スマホを盗まれた」(1)(対面) 1) 警察で出来事を語る 2) 外見の特徴を言う	A C
第14回	「スマホを盗まれた」(2)(対面) 1) 自分で文章を作ろう 2) ペレッシンをする	A C
第15回	「パカンスの終わり」(対面) 1) 気持ちを伝える 2) メールを書く	A
第16回	定期試験 (対面)	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590035002	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	【Online】●フランス語 (再履修) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B 科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は、前期のフランス語 に引き続き「カフェ フランセ 2」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られてます。フランスで日常よく使われる会話を学びます。またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) 「～しながら」(同時性)や「～すれば」(条件)を表すジェロンディフ(en+現在分詞)が使えるようになる。 2) 感嘆文が言えるようになる。 3) 条件法・接続法など動詞の叙法について知り、典型的な使い方で文が作れるようになる。 4) 住居に関する単語や階の数え方を知り、家の説明ができるようになる。 5) 誰かに対する評価を含んだお礼のメッセージが書けるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords	フランス語		
教科書・教材・参考書/Materials	「カフェ フランセ 2」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	基本的に対面授業です。学部の授業と重なる場合は、どの授業と重なるか申し出てください。その場合のみ、オンライン及びオンデマンドが可能です。オンデマンドの場合はLACSの連絡事項にZoomのURLをコピーします。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「医者のところへ」（１）（オンライン） １）身体の部分を覚えよう ２）どこが痛い？ ３）もし～なら、仮定法を知る	A B C
第2回	「医者のところへ」（２）（オンライン） １）病気と症状を言おう ２）聞き取りをしよう ３）ペアレッスン	A B C
第3回	「パーティをしよう」（１）（オンライン） １）土曜日の夜あいてる？ ２）条件法を知ろう	A B C
第4回	「パーティをしよう」（２）（オンライン） １）パーティーで何を食べる？ ２）招待する、受け入れる、断る ３）ペアレッスン	A B C
第5回	「電話とメール」（１）（オンライン） １）間接話法を学ぶ ２）料理のレシピを知ろう ３）聞き取りをしよう	A B C
第6回	「電話とメール」（２）（オンライン） １）料理の材料を知る ２）レシピの料理法を読む ３）単語小テスト	A B C
第7回	「パーティーの計画をしよう」（１）（オンライン） １）出来事の順番と状況を話す ２）聞き取りをする	A B C
第8回	「パーティーの計画をしよう」（２）（オンライン） １）大過去を学ぼう ２）時制の一致をさせよう	A B C
第9回	「ケンカをする」（１）（オンライン） １）聞き取りをする ２）文章を完成させる ３）ストーリーにふさわしいタイトルを選ぼう。	A B C
第10回	「ケンカをする」（２）（オンライン） １）要求を伝える ２）怒りや不満を伝える	A B C
第11回	「河岸を散歩する」（１）（オンライン） １）接続法現在の活用と用法について理解を深めよう。 ２）仲直りの言葉を知る	A C

第12回	「河岸を散歩する」(2)(オンライン) 1) 比較級を知る 2) 最上級を知る	A B C
第13回	「スマホを盗まれた」(1)(オンライン) 1) 警察で出来事を語る 2) 外見の特徴を言う	A C
第14回	「スマホを盗まれた」(2)(オンライン) 1) 自分で文章を作ろう 2) ペレッションをする	A C
第15回	「パカンスの終わり」(オンライン) 1) 気持ちを伝える 2) メールを書く	A
第16回	定期試験 (オンライン)	A